

TEST_MAKER(仮)ver.0.1 のチュートリアル

作成者：飯高敏和

作成日：2006年2月27日

基本的機能

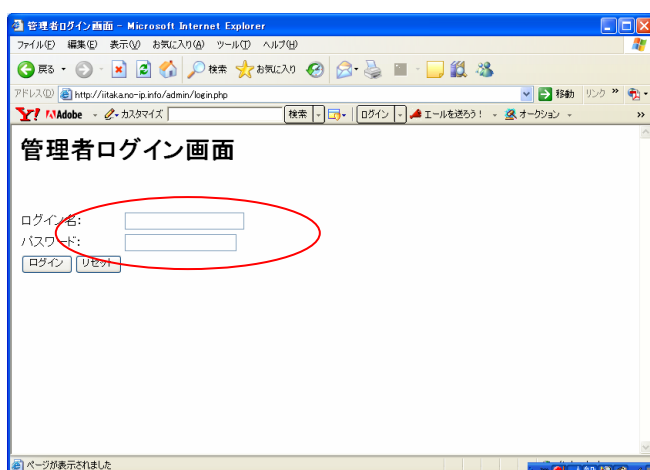
TEST_MAKER は、データバンクにテキストおよび設問を登録し、それを組み合わせて具体的なテストを作成する web アプリケーションです。クラスの受講者は、作成されたテストを、web ブラウザー上で回答します。そして教員もまた、web ブラウザー上で採点を行えます。

1. チュートリアル

チュートリアルでは、テスト用のアカウントでログインして、データバンクにテスト作成用のデータを登録します。そして管理者（教員）と受講者が所属するクラスのデータを作成します。続けて、受講者のデータを作成し、教員が受講者のアクセスを許可します。さらには、実際のテストを作成し、受講者がテストを受け、採点するまでの流れを確認します。

1. 1. まずはログインしましょう

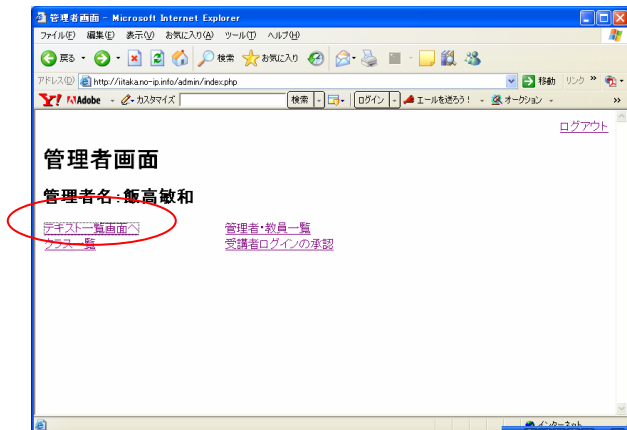
管理者ページにログインするためには、[アプリケーション・ページ]/admin にジャンプします。今回は、「<http://iitaka.no-ip.info/admin>」にジャンプします。ここで、ID とパスワードを入力します。テスト用には「ID : toshibo666、PWD : toshibo666」というアカウントがあります。



ログインページ

1. 2. トップページの表示

ログインに成功すると、次のようなトップページが表示されますので、「テキスト一覧」をクリックしてください。

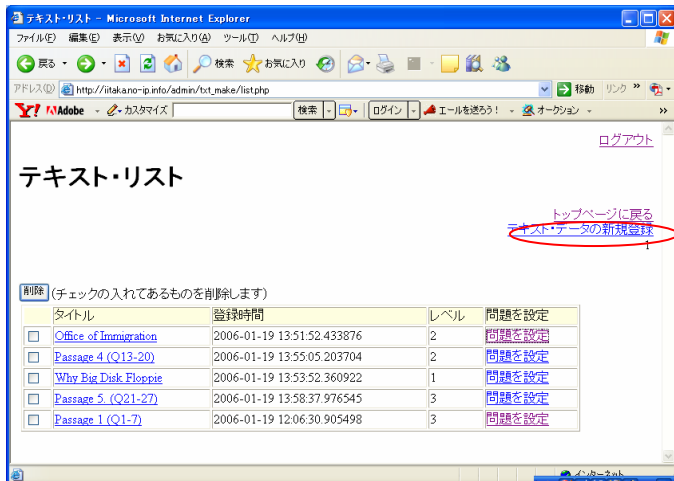


【図1】 トップページ

1. 3. データバンクに登録

1. 3. 1. テキスト・データを登録

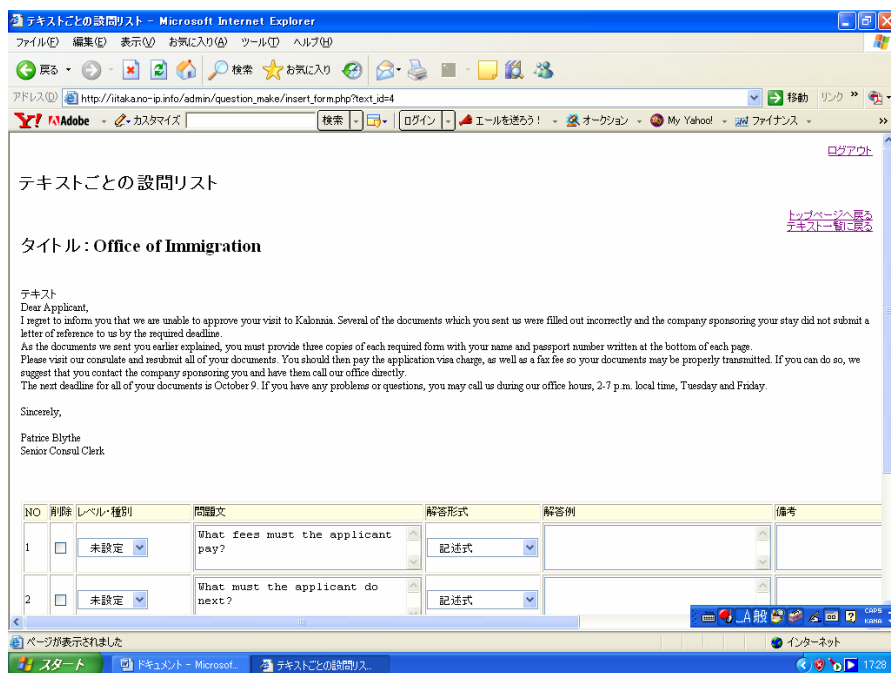
すると、テキスト・リストのページが表示されます。新規にテキスト・データを作る場合には、「テキスト・データの新規登録」をクリックしてください。



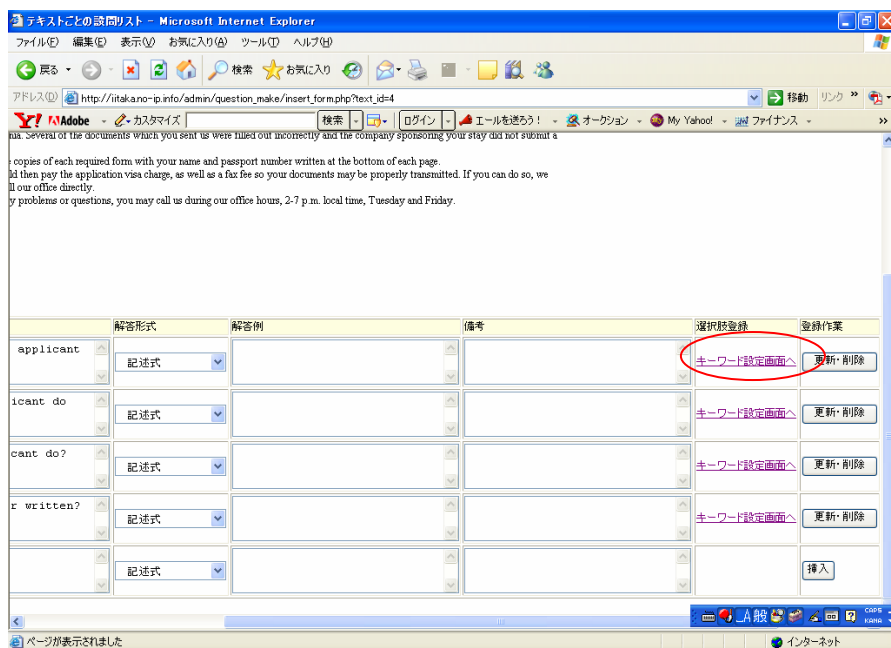
【図2】 テキスト・リスト

1. 3. 2. 設問データを登録

図2の「問題を設定」をクリックすると、図3のリストが表示され、そのテキスト・データに付随する設問データバンクに、データを登録できます。(基本的に、この設問データバンクから選択して、実際のテストを構成します。)



右にスクロールすると



【図 3】テキストごとの設問リスト

1. 3. 3. キーワード・選択肢をセットする

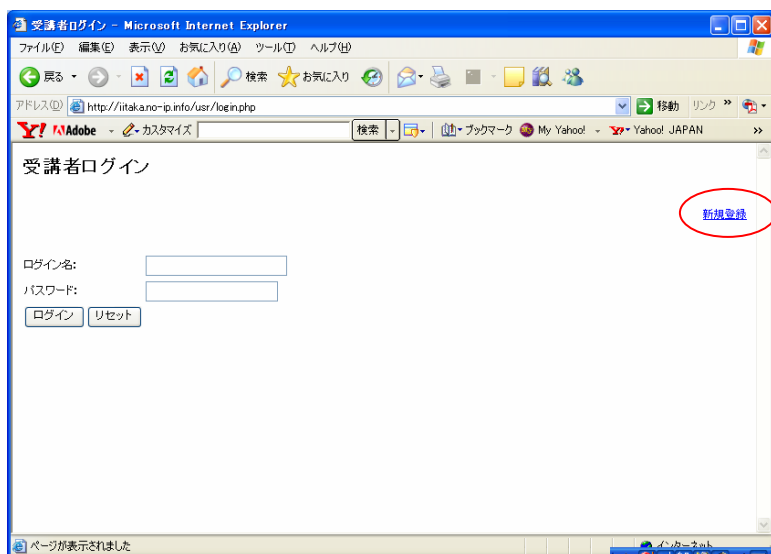
図 3 の「選択肢登録」のフィールドには、「キーワード設定画面へ」もしくは、「選択肢設定画面」というリンクがあるので、それをクリックすると、記述式解答の場合はキーワードが設定でき、選択式解答の場合には選択肢が設定できます。

1. 4. 受講者にアクセスさせる

受講者がアクセスするのは、[アプリケーション・ページ]/usr です。今回は、「http://iitaka.no-ip.info/usr」にアクセスします。（チュートリアル用に、新たにもう一つブラウザを開くことを、お勧めします。）

1. 4. 1. 受講者アカウントの作成

新規の受講者のアカウントは、「受講者ログイン」ページの「新規登録」をクリックすることで、入力フォームから登録できます。



【図4】「受講者ログイン」ページ

*このままの状態では、作成された受講者は、ログインを許可されていません。

（登録する受講者の学年については、次の動作にそなえてひかえておきましょう）

1. 4. 2. 受講者のアクセス許可

受講者のログインは、管理者側で許可できます。管理者のトップページで、「受講者ログインの承認」をクリックすると、ログインを許可するページに移ります。

1. 5. クラスの開設

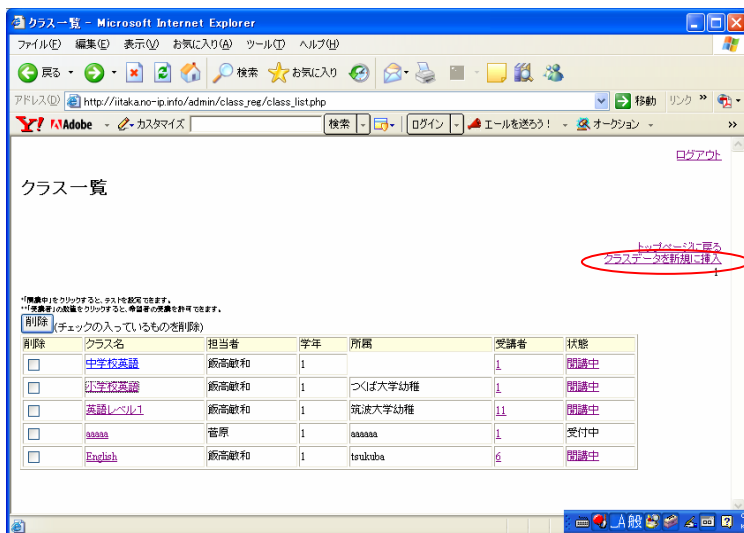
受講者はそれぞれ自分の学年にあったクラスに所属することができます。そして、テストはクラスごとで受けてもらうようになっています。

1. 5. 1. クラス一覧の表示

管理者のトップページで、「クラス一覧」をクリックすると、「クラス一覧」画面が表示されます。

1. 5. 2. クラスデータを作成

クラス一覧画面の「クラスデータを新規に挿入」をクリックすると、クラスデータを新規に作成できます。クラスの担当教員は、ログインした管理者になります。（ここでは、1. 4で作成した受講者と同じ学年のクラスを作成してみましよう）



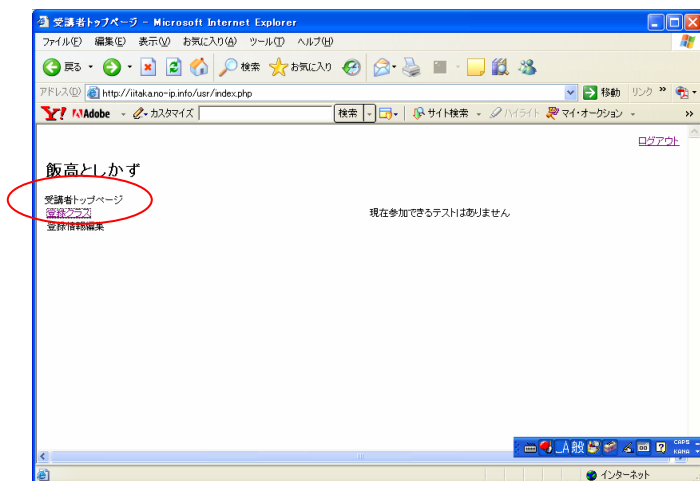
【図5】クラス一覧画面

クラスには状態が設定されていて、「クラス一覧」画面の「状態」に表示されています。「状態」が「受付中」のものに限り、受講者が申し込みをすることができます。（初期状態は「受付中」です。）

1. 6. 受講者の申し込み

1. 6. 1. 受講者側ログイン

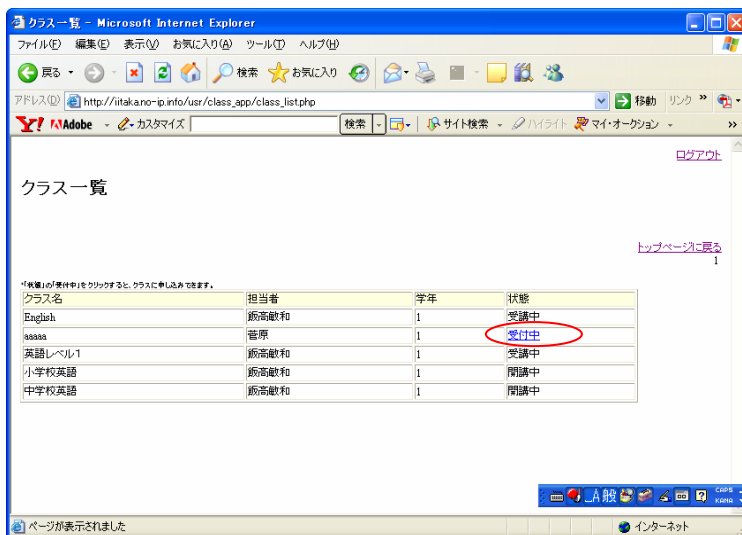
先ほど、1. 4. で作成したアカウントでログインします。ユーザー側トップ画面の「登録クラス」をクリックしてください。



【図 6】受講者側トップページ

1. 6. 2. 受講者側「クラス一覧」

受講者側の「クラス一覧」画面が表示されます。この画面では、自分の所属する学年と同じ学年のクラスが表示されます。ここでは、1. 5で作成したクラスも表示されているはずです。



【図 7】受講者側「クラス一覧」画面

1. 6. 3. 受講申し込み

【図 7】では、クラスの中でも状態が「受付中」のものに限り、クリックできるようにな

っています。これをクリックすると、受講の申し込みができます。

1. 6. 4. 受講の許可

今度は管理者側から、1. 5と同じ手順で「クラス一覧」を表示させます。そして、該当するクラスの「受講者」の欄の数字をクリックすると、受講を許可する画面に移ります。

1. 7. テストの作成

テストは1. 3で作成したデータ・バンクの中から選択して組み合わせて、クラスごとに作成します。

1. 7. 1. クラスの開講

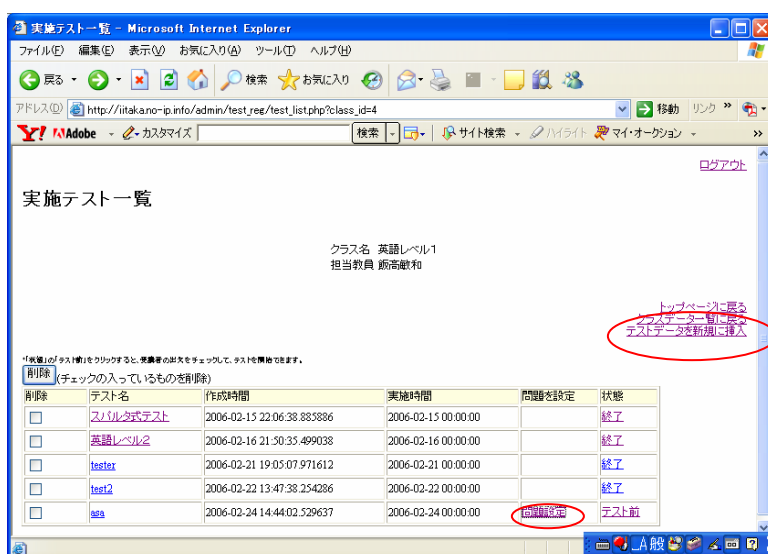
受講者が受けることのできるテストを作成するには、クラスの状態が「開講中」である必要があります。クラスの状態を変更するには、1. 5と同じ手順で「クラス一覧」を表示させて、「クラス名」をクリックして変更画面に移ります。

1. 7. 2. 実施テスト一覧

状態を「開講中」にすると、「クラス一覧」の「状態」の表示も「開講中」になります。これをクリックすると、「実施テスト一覧」画面が表示されます。

1. 7. 3. テストデータの作成

「実施テスト一覧」の画面で、「テストデータを新規に挿入」をクリックすると、テストの基本データを作成することができます。



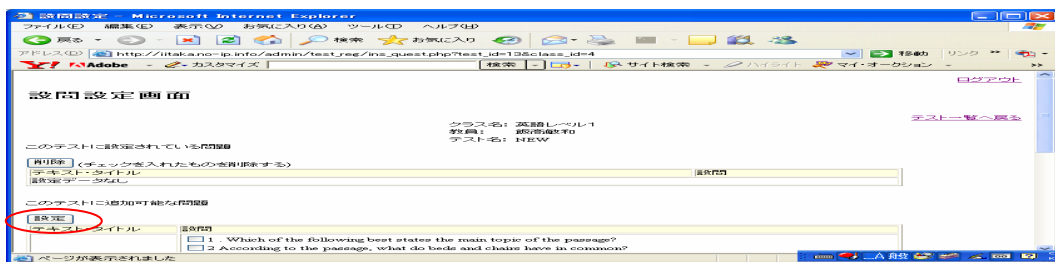
【図8】実施テスト一覧画面

1. 7. 4. 設問の設定

テストの基本データには「状態」があり、初期状態は「テスト前」です。状態がテスト前の時に限り、「問題を設定」の欄に「問題設定」というリンクが表示されています。この「問題設定」をクリックすると、「設問設定」画面に移ります。

1. 7. 5. データバンクからデータをとる

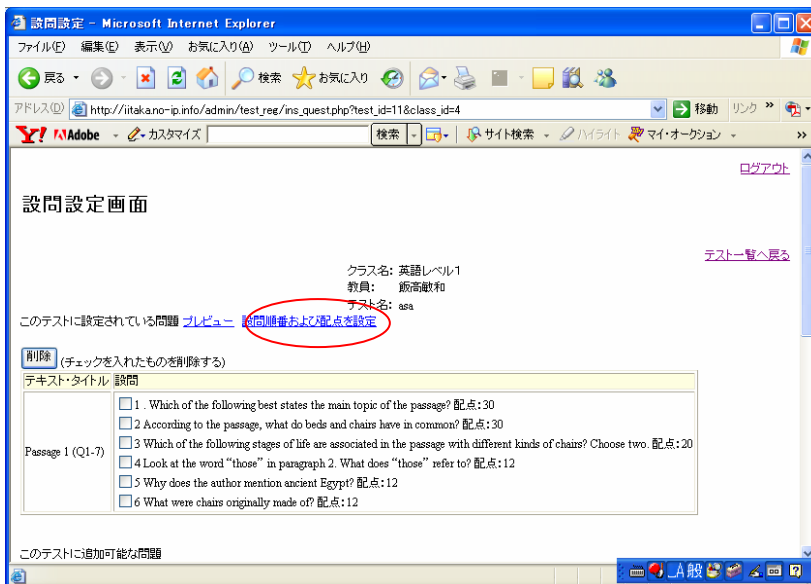
設問設定画面では、データバンクに登録のある設問の一覧が表示されています。ほしい設問にチェックを入れて、「設定」をクリックすると、問題が作成されます。



【図 9】 設問設定画面

1. 7. 6. 順番及び配点の決定

設問データが登録されると、配点や出題順番などを設定できます。「設問設定」画面の「設問順番及び配点を設定」をクリックすると、配点や出題順番を設定できます。



【図 10】 設問順番及び配点の設定

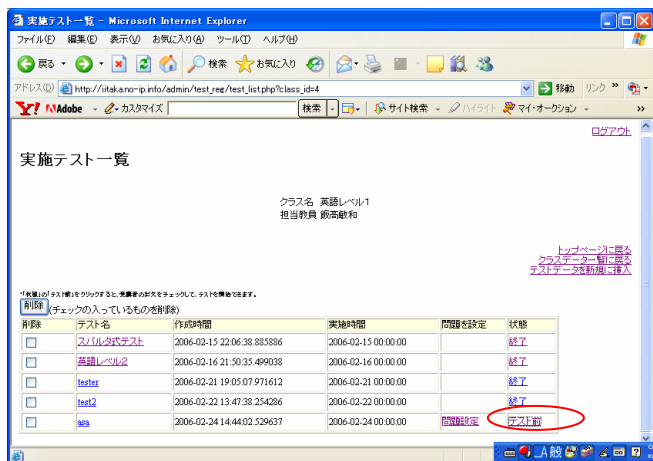
1. 8. テストの流れ

管理者側でテストを開始し、受講者側で回答を提出し、管理者側で採点するまでの流れを

解説します。

1. 8. 1. テストの開始

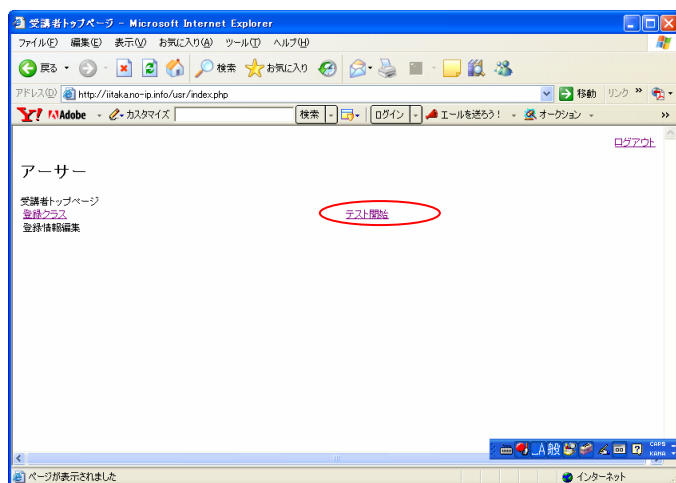
実施テスト一覧の画面を、1. 7と同様の手順で、表示させます。そして「状態」の「テスト前」をクリックすると「テスト開始・出欠フォーム」からテストを開始できます。



【図 1 1】 実施テスト一覧（テスト開始可能）

1. 8. 2. 受講者がテストを受ける

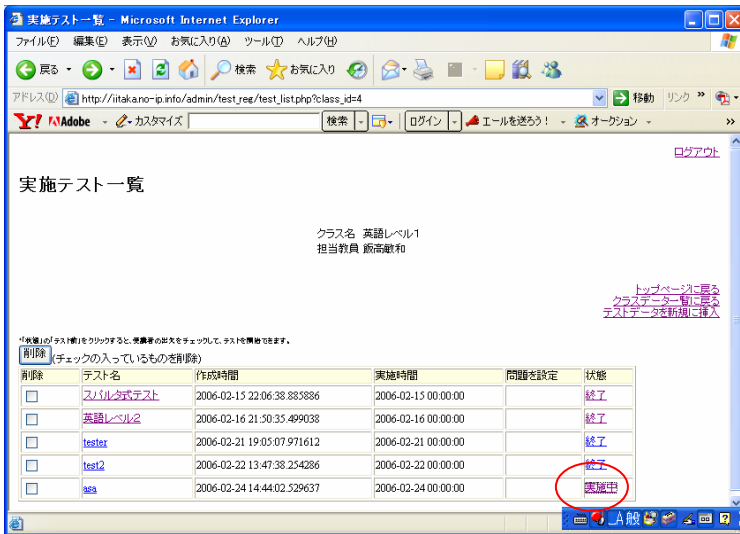
テストが開始されて、クラスの状態が「実施中」になっていると、出席している受講者は、受講者トップページからテストを受けることができます。「テスト開始」のリンクが表示されているので、これをクリックしてテストを受けて提出してください。



【図 1 2】 受講者トップページ（テスト開始可能）

1. 8. 3. テストの終了

管理者側の実施テスト一覧の「状態」の欄にある「実施中」のリンクをクリックすると、「テスト終了・遅刻者フォーム」から、テストを終了できます。



【図 1 3】 実施テスト一覧（実施中）

1. 8. 4. 採点

テストを終了すると、テストの状態が「終了」になります。ここで、実施テスト一覧の「終了」リンクをクリックすると、「採点用テスト参加者一覧」が表示されますので、この画面で採点を行えます。